

平成22年度決算（財政収支）の概要

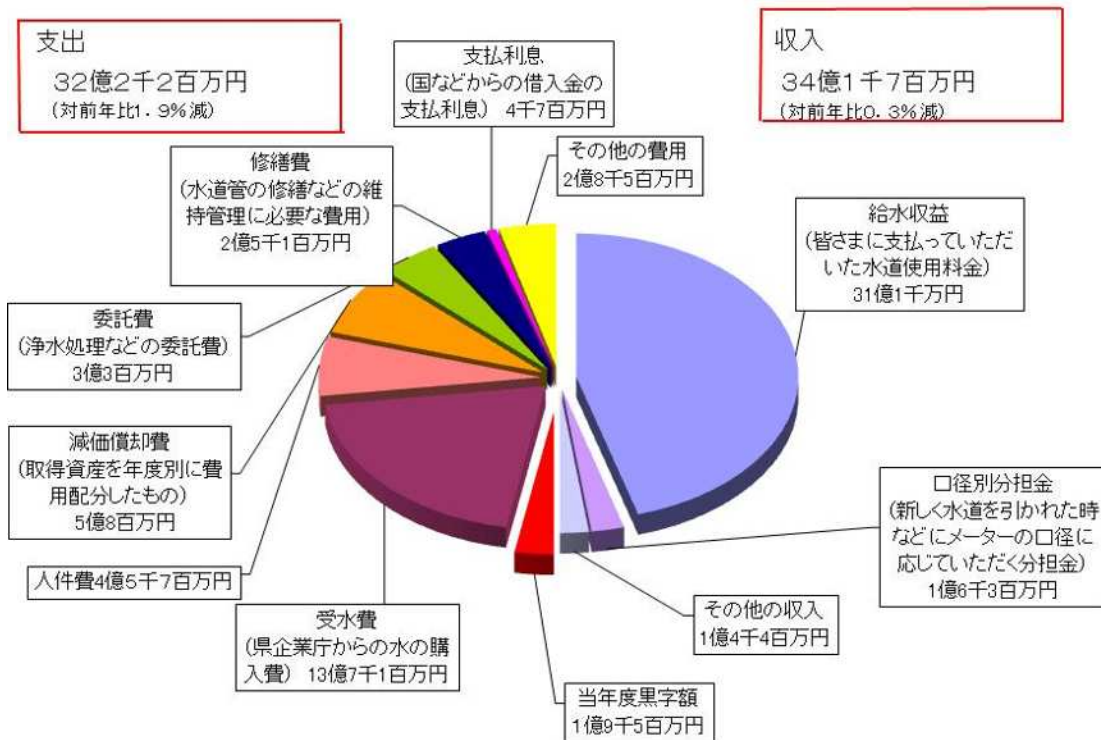
本年度も安全な水の安定供給の充実にに向けて取り組んでまいりました。

経営面では、平成22年の猛暑の影響などにより有収水量（収益となった水量）が微増となったため、給水収益は増収となりました。また口径別分担金も増収となっています。さらに支出の削減により、財政収支は6年連続で黒字となりました。

事業面では、水道ビジョンの基本理念「安全な水道水を安定して送りつづけるために」の基本目標を達成するために、配水管布設工事、配水管改良・敷設替工事、流量計更新工事などを実施しました。

今後も、老朽化した施設・設備の更新、耐震化工事等に取り組むとともに、一層の経営の効率化・経費の削減を図り、市民のみなさまから信頼される水道事業をめざします。

〔水道水を皆さんの家庭へ円滑に送るための収益的収支〕



〔水道施設を建設・整備するための資本的収支〕

